

ドメヌ・クラレンス・ディロンが監修した特別な Château Haut-Brion ライブラリー

Château Haut-Brion の母体は、この畑の伝説的な砂利質土壌から生まれた 2 千年にわたるワイン造りの歴史にインスピレーションを受け、このたび新たな文化的宝物を提供することになりました。会長兼 CEO のロベール・ド・ルクセンブルグ (Robert de Luxembourg) さんのリーダーシップのもと、家族経営のこの会社は、この最も古く由緒あるエステートの、すでに特別に華麗な王冠に、特別な新しい宝石とみなされるものを作るために世界中を駆け巡りました。

「Chateau Haut-Brion は、2 千年以上にわたって、一口ごとに、私たち人間の物語の特権的な証人であり、多くの意味で、世界に存在するすべての高級ワインの祖先であったのです。また、創業当初から、ドメヌはガストロノミーの世界と共生してきました。Chateau Haut-Brion のように、時代を超えて語り継がれ、私たちの祖先の情熱を映し出す資料を統合し、フランスのブドウ畑にユニークな宝物のようなライブラリーを作ること、この高貴な過去を目撃することができるのです。このコレクションは、私たちを由緒ある比喩的なテーブルの周りに集め、時代を超えて、今日まで高級ワインとガストロノミーの世界にインスピレーションを与え続けている感覚的な宴を共有します。」

ロバート・ド・ルクセンブルグ (Robert de Luxembourg) 王子

この豊かな歴史的土壌に埋もれたドメヌは、古くからガストロノミーの世界と結びついてきたことも自慢のひとつです。1666 年、ポンタック家はヨーロッパ初のガストロノミーレストラン「ポンタックスヘッド」を開設しました。1787 年にジョセフ・フーメル (Joseph Fumel) さんがトーマス・ジェファークソン (Thomas Jefferson) さんを塾居させます。1803 年、「ルイジアナ購入」によって、当時の Château Haut-Brion のオーナーであったタレーラン・ペリゴール (Talleyrand-Perigord) 公とアメリカ大統領が再び結びつくことになります。その後、タレーラン (Talleyrand) さんはウィーン会議において最も称賛されるホストとなり、外交官となったが、それは有名なシェフ、アントナン・カレーム (Antonin Carême) さんがいたためです。

アントナン・カレーム (Antonin Carême) シェフの直筆サイン入り書籍「Le maître d'hôtel français」と「Le pâtissier pittoresque」は、Château Haut-Brion のライブラリーの礎となる初期のインスピレーションとなったものです。私が初めて購入した 2 つのワインは、世界の歴史、美食、そしてもちろんシ Château Haut-Brion のかつてのオーナー、Charles-Maurice de Talleyrand-Périgord の有名な外交官を象徴するものでした。」

ロバート・ド・ルクセンブルグ (Robert de Luxembourg) 王子

現在、Château Haut-Brion では、建築家アナベル・セルドルフ (Annabelle Selldorf) さんが監修する大規模な建設・改修プロジェクトが進行中で、新しいワイン製造施設だけでなく、メニュー、手紙、文書、優れた古美術書やワイン本のコレクションも増えてきているそうです。Château Haut-Brion のライブラリーには、情熱と才能にあふれたカリフォルニアのワインメーカー、ショーン・タックリー (Sean Thackrey) 氏によって作られたサックリー・コレクションが加わり、大きな恩恵を受けています。サックリー氏のコレクションは、このシャトー・オー・ブリオンのアテネウムに新たな次元を加えたことは間違いありません。

最も尊敬される古いテロワールのひとつであるこの地には、1500 年前にさかのぼる書籍やテキストが所蔵されています。現在では、ブドウ栽培、ワイン、ガストロノミーに関する約 3000 冊の書籍、Château Haut-Brion の歴史に関する 8 つのオリジナルアーカイブ、312 の歴史的メニュー

一、**100** の名門レストランのワインリスト、**43** のオリジナル署名入り手紙や原稿、農業、ガストロノミー、テーブルアートに関する日本語の原稿 **17** 枚を所蔵しています。

高級ワインの歴史と伝承の起源である **1 級 Château Haut-Brion** は、現在、世界で最も優れたアンティークな美食とワインのライブラリーの究極の保管庫の一つにもなっています。このコレクションは、**2026** 年から予約制で研究者が利用できるようになる予定です。

連絡先 : contact@domaineclarencedillon.com